

かなぶさ

南相馬市立金房小学校長 遠藤 俊一

【教育目標】 ◇進んで学ぶ子ども ◇思いやりのある子ども ◇健康な子ども
 【重点目標】 **進んで 取り組もう**

実りの秋

「実りの秋」を迎え、子どもたちも教職員も“**学習の充実の秋**”を目指し日々取り組んでいるところです。また、私たち教職員は、今年度、算数科を中心に『**子ども自らが主体的に学ぶ授業はどうあればよいか**』という共通のテーマを設定し研究に取り組んでおります。算数科においては、基礎的・基本的な知識・技能はもちろん、数学的な思考力・表現力を高めることや身につけた算数を日常の生活や学習の中で活用することも同時に重要視されております。算数が苦手なお子さんも、自分の考えを深めたり、他のお子さんの考えを聞いて「おや?」と思ったり、「**そんな考えもあったのか!**」「**こう考えればよかったんだ!**」と気づいたりすることによって、学び合い、深め合いを通して「**分かった!**」「**できた!**」と実感できる場面が少しでも多く見られるよう取り組んでおります。

9月12日（金） 第2回金房小学校校内授業研究会 第6学年 「算数科」

今回は、「速さ」の学習の第1時間目でした。「速さ」は日常生活の中でもよく使われる言葉ですが、子どもたちにとって、感覚的には易しいと感じていても数量的に表して処理しようとするとなかなか難しい内容です。特に時間は目に見えないものであることから、「時間」と「道のり」という2つの異なる数量を同時に考えなければならぬことが大きなネックになるようです。

子どもたちが興味を持って「速さ」の学習に取り組めるように、

■**同じ距離を、A先生がゆっくり、B先生が急ぎ足で歩き、かかる時間を比べる**

■**同じ時間で、A先生がゆっくり歩き、B先生が急ぎ足で歩き、進む距離を比べる**

授業の初めに2人の教師が教室の中を実際に歩いて、速さを視覚的にとらえられるよう工夫がされました。子どもたちは実感として「速さ」を感じ取ることができたのではないかと思います。教科書だけでなく、2人の教師が知恵を出し合い取り組んだ場面でした。

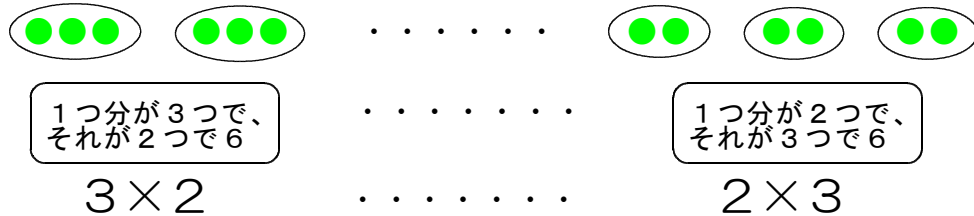
→ 授業の導入の場面



← グループの話し合い



「かけ算」は、2年生の算数科で学習する重要な学習の一つです。学年を重ねる毎に、かけ算の筆算や割り算へと発展していきます。2年生は、これから「九九」を学習します。九九を覚えることも重要な学習の一つですが、かけ算の仕組みや九九の成り立ち、性質を理解することが3年生以降の学習に大きく関わってきます。



どちらも答えは6ですが、[1つ分の数]に着目し、それをひとまとまりの数とみて、その[いくつ分]をとらえることが大切であることをおはじきや図で表し、説明する授業でした。

→ 自分のことばで説明



← 書画カメラを使って確認



お願い

今週月曜日、台風18号接近時の登下校に際しましては、送迎等大変お世話になりました。幸い、朝の登校時間帯と下校時間帯は突風も和らぎ、安全に登下校することができました。また、来週も強力な台風19号が接近する模様です。登下校の際の交通手段等についてご家族であらかじめ話し合っておくようお願いいたします。

お世話になりました！

お忙しい中、教育相談へのご来校ありがとうございました。短い時間ではありましたが、今後も、保護者の皆様と担任が一体となって連携を図っていきたいと考えております。教育相談の期間だけでなく、何かありましたらいつでもご連絡ください。お待ちしております。



一人ひとりの笑顔が輝く金房小学校

